

室蘭市開港150年・市制施行100年

# むろらん 子ども議会だより



## 子ども議会の開催に当たり

室蘭市開港150年・市制施行100年記念事業として、室蘭市の未来を担う中学生に、市議会を経験していただき、市政や議会について学んでいただくとともに、室蘭市の将来への関心を持っていただくことを目的として、令和4年8月10日（水）に「子ども議会」を開催いたしました。

市内7中学校からそれぞれ2名ずつ、計14名の生徒を子ども議員として推薦していただき、室蘭市に対して、よりよいまちづくりのための意見や提案などを質問し、市長等が答弁する、いわゆ

る「質疑・一般質問」を経験していただく内容で実施いたしました。

## 勉強会の実施

子ども議会の実施に先立って、質問内容をより的確に伝え、しっかりとした答えを引き出すための準備として、令和4年7月25日（月）・26日（火）に第1回目、8月4日（木）に第2回目と、2度の勉強会を開催しました。

第1回目の勉強会においては、市役所と市議会の関係や、市議会の仕組みなどの基本的な説明のほ

か、各中学校に1名ずつ担当議員が付いて質問内容を固めたのちに、実際に質問内容を担当する職員に、より詳しいお話を聴く機会を設けるなど、質問を完成させるための準備を行いました。

### ○勉強会の様子



第2回目の勉強会においては、質問順番を決めるくじ引き、当日の進行を担う議長役も立候補により決定しました。

担当議員・職員ともお話しし、それぞれの子ども議員も本番で質問する内容を固め、いよいよ本番を迎えます。

## 子ども議会の開催

いよいよ令和4年8月10日(水)13時に本番を迎えました。

会場は、市議会が行われている本庁舎4階の議場です。

市側も、通常の市議会と同様に、市長、副市長、教育長をはじめとして各部長職も入ったフルメンバーで出席しています。

## 質問者及び質問項目一覧

順序	学校名	質問者名	質問項目
1	本室蘭中学校	白川 丈二 議員	1. 空き店舗（シャッター街）について 2. 子どもの虐待について
		副嶋 沙紀亜 議員	
2	桜蘭中学校	森田 旬 議員	1. 駅周辺の活性化を図るための政策について
		間宮 隆世 議員	
3	室蘭西中学校	篠崎 未来 議員	1. 住宅街の街路灯問題について 2. 若者の市外流出について
		安里 琉翔 議員	
4	翔陽中学校	工藤 航樹 議員	1. ハイウェイオアシスの建設・道の駅みたら室蘭の活性化について
		木村 賢太郎 議員	
5	星蘭中学校	後藤田 勇大 議員	1. 大型ショッピングモールの誘致について 2. 室蘭を広くPRするために行っている対策について
		石澤 希歩 議員	
6	港北中学校	成田 彪 議員	1. 室蘭の人口減少について
		白木 元 議員	
7	東明中学校	長井 悠 議員	1. 地震・津波等における避難所について
		工藤 慎太郎 議員	

## 質問の要旨

市内7中学校14名の子ども議員からの質問及び答弁の要旨を紹介します。

### 質問順序1

本室蘭中学校

白川 丈二 / 副嶋 沙紀亜

### 1. 空き店舗(シャッター街)について

**〔質問〕** 白鳥台では全ての生活用品の買い物はできず、大変不便なので、未使用地や空き店舗を商業者の方々に使ってもらうのはどうでしょうか。まずは、私たちができることとして、アンケートの取組などができると思います。

また、新しい店舗にはお金がかかるため、撤去やりノベーショ費用の助成などの取組をすべきと考えますが、検討をお願いします。

**〔市長答弁〕** 市では空き店舗解消に向けて、空地・空き店舗を活用して新たに開業する場合、新築・改修費を支援しており、白鳥台地区でも空きテナントを活用した飲食・小売店が新規出店し、地域の賑わいにつながっていると感じています。

また、自分が住む地域のお店を積極的に利用したり、外から呼び込む工夫を地域全体で考えることも大変重要ですので、今後も、空き店舗の解消・活用の取組を検討していきます。

**〔再質問〕** 地域が希望する業者であれば、地域住民も協力して街のにぎわいに貢献できると思うので、支援の拡充をお願いします。

**〔市長答弁〕** 今年度から、20～50代へのアンケート結果を受け、特にマチに欲しいという意見が多かった「飲食店」に対し、補助金を加算するなど、市民ニーズを踏まえた改正を行っています。

### 2. 子どもの虐待について

**〔質問〕** 先日、「こころん」で虐待についての話を聞きました。

発見には身近な目が必要とのことで、地域の方とのコミュニケーションによる早期発見が大事だと思うが、中学生にはそういうつながりがないため、地域の方と気軽に交流できる場所の提供をしてほしいので、検討をお願いします。

**〔市長答弁〕** 子育て世代包括支援センターで子育て中の親子などが気軽に交流できるよう広場を開設し、保健師・相談員などの専門職員が相談に依りており、地域に身近な民生委員・児童委員や保育所などとも情報共有・連携を図っています。

**〔再質問〕** センターがあるとの答弁でしたが、子どもだけで行くのは大変なので、地域の中で子供が頼りやすい場所を提供してほしい。また、民生委員の話もありましたが、私自身存在を知らなかったのので、そういった方を知ることができる場所を白鳥台に作ってほしいです。

**〔市長答弁〕** 各小学校のスクール児童館には支援員を配置し、放課後は中学生も含め自由来館が可能なので、交流を通して虐待の早期発見につながるきっかけとなる場所の一つと考えています。

また、子育て世代包括支援センターでは、電話やメールでの相談も受けており、内容によっては相談員が家庭訪問し、現状を確認しながらの相談対応を実施しています。



○ 子ども議員が質問をしています。

## 質問順序 2

桜蘭中学校

森田 旬 / 間宮 隆世

### 1. 駅周辺の活性化を図るための政策について

**【質問】** 現在、室蘭市は人口が8万人を切り、町や住居の空洞化が目立っていますが、室蘭駅周辺で何かまちおこしのようなものを行っていますか。

さらに、同様のことを東室蘭駅周辺で行う計画はありますか。また、東室蘭駅周辺では宮の森体育館が現状放置されており、広大でアクセス性がよいので有効活用すべきと思いますが、利便性向上のための取組の予定はありますか。

**【市長答弁】** 室蘭駅周辺のまちおこしにつきましては、旧駅舎の隣の公園にSLを移設したほか、「みなとまち散策路」という散策コースを設け、町の歴史を感じながら歩けるようにし、先般もウォーキングイベントを行っています。

また、市民の方々が主体となってイベントができる広場を期間限定で用意し、市民アイデアによるイベントを9か月で70以上実施しています。

東室蘭駅周辺につきましては、歩きたくなる町を目指し、歩道等に飲食スペースを設ける、いわばオープンテラスのサポートなどを実施し、にぎわい創出に取り組めます。

また、旧体育館の活用につきましては、町なかにある緑の空間として、子育て環境の向上などにつなげ、市民の皆さんに愛され、憩える公園となるような活用を考えています。

**【再質問】** 室蘭はサッカーの町としてPRしていたと思いますが、最近はサッカーができる施設が少なくなってきたと感じます。

この課題を解決するため、宮の森体育館をサッカーコートとして活用してはいかがでしょうか。

そうすることで、若者世代や子育て世代などが東室蘭駅周辺に集まり、活性化すると思います。

また、それが難しい場合には、子どもが走り回れたり、親子でお弁当を食べられる広場や遊歩道を設置し、子育て世代に使いやすい公園を設置するのはいかがでしょうか。

**【市長答弁】** 旧体育館跡地のサッカーコートとしての活用につきましては、スポーツ施設の集約を実施しており、現在新たなサッカーコートを祝津

公園内に整備中ですので、旧体育館跡地での整備は現在のところ計画していません。

祝津公園のサッカーコートは来春オープン予定であり、人工芝で稼働率も向上しますので、十分に活用し、またサッカーで町を盛り上げていただきたいと思います。

中島公園を子育て世代が使いやすくという点につきましては、現在中島公園のリニューアルに取り組んでおり、「子育て環境の向上に寄与する機能」を目指す姿の一つとして考えています。

今後は、先に実施したアンケート結果や、ただ今のご質問なども参考に中島公園のリニューアルに取り組んでいきます。

## 質問順序 3

室蘭西中学校

篠崎 未来 / 安里 琉翔

### 1. 住宅街の街路灯問題について

**【質問】** 私は小橋内町在住ですが、学校などからの帰宅時は徒歩で帰るには暗く、とても怖いです。

街路灯は、夜間の犯罪防止に効果的ですが、街路灯に対する具体的な対策はどのようになっているのでしょうか。また、街路灯の設置基準も伺います。

私は帰宅時ずっと怖い思いをしながら、この思いを誰に伝えればいいのか分からなかったため、より気軽に意見を伝えることができる場をさらに提供してもらいたいと感じています。

**【市長答弁】** 国道、道道、市道では各道路管理者が道路交通の安全と円滑化を目的に設置しており、住宅街などでは、町内会等が夜間の安全や犯罪防止等を目的に設置し、町内会等に対し、市から設置及び維持管理費の助成を行っています。

設置基準は、市が管理する市道の街路灯は交通量の多い交差点やカーブなどの安全上の必要性が高い箇所を中心に設置し、町内会等が管理する街路灯は交通量の少ない道路や住宅街など、町内会等が必要性を判断しています。

意見を気軽に伝えられる場につきましては、子どもたちを事故や犯罪から守るためには、子どもの視点に立った安全対策が重要であり、教育委員会、学校などの関係者とも連携を図りながら、環境づくりを考えていきたいと思っています。

**〔再質問〕** 教育委員会や学校と連携をしながら意見を伝えやすい環境づくりについて考えていくとの答弁でしたが、具体的にどのような方策を考えているのか教育長に伺います。

**〔教育長答弁〕** 意見を伝えやすい場づくりの具体的な方法につきましては、昨年千葉県で発生した下校中の児童の列にトラックが突入し、児童5名が死傷した事故の発生を受けて、広く児童から通学路で危険を感じている箇所について聞き取りし、約30か所の点検を行っています。

## 2. 若者の市外流出について

**〔質問〕** 室蘭の人口減少の理由の一つに、多くの高校生が卒業後に市外に進学・就職していく実態があると思いますが、若者に住み続けてもらう、市外から来てもらうためどうしていくのか、今後の展望を教えてください。

私は将来経済学部系の大学に進学したいと考えていますが、室蘭にはその選択肢はありません。

室蘭には室蘭工業大学をはじめとして専門学校もあります。沢山ある学校を再編し、総合大学を作れば、学生は室蘭に残り、人が集まると思います。

これくらい思い切ったことを考えてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

**〔市長答弁〕** 市内に若者が求める職種・就職先が少ないことも要因と考えており、若者が求めている研究開発やIT関連企業の誘致や、本市最大の地域資源である「港」を活かした企業誘致にも取り組んでおり、洋上風力発電関連企業の進出は、ゼロカーボン社会に貢献する企業の進出であり、若者の地元定着につながるものと考えています。

総合大学の設置につきましては、大変興味深い提案ですが、全国的な子どもの減少等により国の許可を得るのは難しいのが実情であり、室蘭工業大学や各種専門学校等を貴重な地域資源と捉え、若い皆さんの定住や移住促進に最大限活かしていきたいと考えています。

**〔再質問〕** 様々な学校を移住定住に活かすとのことですが、具体的にやっていることを教えてください。また、今あるものを守るだけではいずれ無くなってしまおうという不安があるので、新しいことにも挑戦してほしいと考えていますが、いかがでしょうか。

**〔市長答弁〕** 最近でいえば、室蘭工業大学において宇宙産業やIoTなど、これからの時代に合わせた特色あるプログラムで、道内外から多くの入学を促している事例や、パナソニックITSという会社の本市出身の方が地域課題の解決のため室蘭に拠点を設け、新たに7名の雇用につながったこともあり、市としても様々な形で今後も支援していきたいと考えています。

### 質問順序 4

翔陽中学校

工藤 航樹 / 木村 賢太郎

#### 1. ハイウェイオアシスの建設・道の駅 みたら室蘭の活性化について

**〔質問〕** 室蘭市では人口減少が進んでいるため、外部から人を呼び込む必要があり、観光業による収入増加も必要だと思います。

砂川ハイウェイオアシスには地元グルメを食べられるレストランや取れたて野菜の直売所などの施設があり、いろいろな人が訪れていますので、本輪西パーキングエリアに同じような施設を作れば室蘭の魅力をもっと伝えられると思います。

また、ハイウェイオアシスの建設が難しい場合には、みたら室蘭の活性化を提案します。

有名製菓メーカーの招致や地元グルメのレストラン建設、また、みたら室蘭限定の商品を置くことで観光客は来てくれると思います。

**〔市長答弁〕** ハイウェイオアシスの建設は、建設資金の確保や事業の採算性などクリアすべき課題も多いと考えられますが、登別室蘭―伊達インター間の4車線化という計画もありますので、その事業の一環で相談できるかもしれません。

みたら室蘭につきましても、これまでリニューアルを行い、利用者数も増えてきており、今年にはRVパークを新たに設置しています。

現在取り組んでいる洋上風力発電も、隣接地に拠点を置くことで、ものづくり室蘭の拠点として産業観光の視点も入れて、より多くの集客を期待できると考えています。

製菓メーカー等の招致につきましては、まずは地元の企業を伸ばすという視点で、場合によっては他の企業を誘致しながら、周辺の夜景観光、主塔見学等も含めた魅力向上に努めます。

〔再質問〕洋上風力発電を産業観光に生かすとのことですが、具体的に観光面においてどのような効果が見込まれると考えているのでしょうか。

洋上風力発電は、経済的な効果など観光以外の効果は見込めると思いますが、建設コストと観光収入等の見込のバランスは取れているのでしょうか。

また、最近のキャンプブームにちなみ、大黒島を利用した無人島キャンプの企画はどうでしょうか。

〔市長答弁〕今年祝津埠頭を整備し、大型クルーズ客船が寄港できるようにしましたが、とりわけ欧米の方は、その町が環境にどのような理解と取組をしているのかで選ぶ時代が来るとも伺っており、ゼロカーボン・脱炭素の取組のシンボルとしての洋上風力発電を契機に、室蘭を訪れることにつながっていくと思っています。

大黒島の提案につきましては、テレビでソロキャンプの映像を拝見したことがあり、大変ユニークな提案と感じます。

大黒島を観光の拠点にという提案は、これまで度々議論をいただいておりますが、老朽化が進んでおり、岸壁、灯台、階段などの整備には多額の費用が掛かるのも実際であり、投資対効果も吟味しながら実現できれば室蘭観光の大きな魅力の一つになると考えています。

## 質問順序 5

星蘭中学校

後藤田 勇大 / 石澤 希歩

### 1. 大型ショッピングモールの誘致について

〔質問〕室蘭には映画館が1つしかなく、今回の休館で札幌まで足を運びましたが、映画館に限らず、アパレル・CD・雑貨屋などが少ないのも同様です。

欲しいものが見つからず、札幌に若い人たちが流れると、人口減少に拍車をかけるだけでなく、地域経済も衰えるので、若者たちが戻ってきたいと思えるまちづくりのため、大型ショッピングモールが必要だと思えます。

民間企業が来てくれるのかなどの懸念はありますが、完成して話題になればかなりの集客になると思いますし、閉校した学校跡地などを有効活用できると思うので、誘致の考えを教えてください。

〔市長答弁〕近年の市内の商業環境は、モル工中島エリアに新店舗が加わったほか、ニトリ室蘭店のリニューアル移転や地元商店街でも新たな個店開業の動きも見られます。

大型ショッピングモールの出店は、町の魅力向上につながると考えており、イオン室蘭店の移転改築は、町のにぎわい創出に大変期待しています。

一方で、大型商業施設が増えた場合の課題もあり、地元商店街の衰退のおそれもありますので、大型商業施設・商店街・個店の共存共栄のための商業対策を検討していきたいと考えています。

〔再質問〕大型商業施設は地域住民を対象とした施設とし、地元商店街等は室蘭の特色や風情を全面的に出して観光客を対象とした施設というように対象を区別すれば共存が可能と考えますが、市は、地元商店街等をどのように支援していくのでしょうか。

〔市長答弁〕市の支援につきましては、基本的には企業が求める支援策を丁寧に伺い、ケースバイケースでの対応が必要になりますし、市がどこまで関われるかも個々の判断が必要と考えています。

最近の例では、日の出町の現公設地方卸売市場の跡地に、イオン室蘭店が移転新築しますが、必要な広さのある土地に長期的に賃借いただくことで、市外に移転することなく、新たなモール新設につながったと考えています。

### 2. 室蘭を広くPRするために 行っている対策について

〔質問〕室蘭は美しい自然あふれる観光スポットなど沢山の魅力にあふれている一方で、中央町は商店街に隠れた名店などがあるにもかかわらず、あまり知られておらず、非常にもったいないと思います。

僕たちが進学や就職などで室蘭を離れても、また住みたいと思える室蘭であり続けるため、商店街や観光地がにぎわうことが重要と考えます。

人口減少を抑えることも大切ですが、多くの人に室蘭をPRしていくことが大切と考えます。今現在、室蘭を広くPRするために行っている対策などがあるか教えてください。

〔市長答弁〕PRの取組ですが、現在は旅行雑誌などへの情報掲載、各種観光パンフレットの作成、プロモーション動画の発信、更には撮りフェスや市SNSを通じて情報発信を行っています。

中央地区につきましては、昨年、環境科学館・図書館、体育館と新たな公共施設がオープンし、町を歩くコースなども設定していますので、これらも発信していくなど、今後も様々な工夫を凝らして室蘭地域の魅力発信に努めます。

**【再質問】** いろいろな人に知ってもらうため、パンフレット等の作成、イベントでのプロモーション活動などを行われていることを知りましたが、僕たちにも何かできることがあるのではないかと思います。

このまちを深く知る必要があるとは思いますが、僕たちにできることを教えてください。

**【市長答弁】** 皆さんに取り組んでいただきたいことについてですが、いろいろな方法があるかと思えます。

スマートフォンから、例えばSNSを通して室蘭の美しいところや面白いところを発信していただくこともすぐできる取組の一つですが、その基本となるのはやはり町のよさを皆さん自らが見つけるところにあると思えますので、市民1人1人が取り組むことで、室蘭の魅力が内外により発信できるものと考えています。

## 質問順序 6

港北中学校

成田 彪 / 白木 元

### 1. 室蘭の人口減少について

**【質問】** 僕が日頃から室蘭の人口減少を感じている点がいくつかあります。

1つ目は「高校の間口の削減」です。僕たち今の中学3年生の高校受験で、室蘭栄高校の定員が1クラス40人分減ります。

2つ目は部活ですが、入学する前にサッカー一部は廃部となり、野球部は部員数が足りないため他の中学校との合同チームとなっています。

人口減少は、主に自然減と社会減の2つに分かれますが、自然減の解決には子どもを産みやすい環境づくりが一番の近道であり、社会減の解決には子どもたちが室蘭で就職できる企業を知らせるため就職の幅を広げる学校教育が大事だと思いますが、今行っている政策について教えてください。

**【市長答弁】** 子どもを産みやすい環境づくりは、私も重要と考えているため、子育て支援策に力を

入れており、公共施設使用料の無料化、新婚・子育て世帯への家賃助成などの取組を行っています。

就職の幅を広げる教育につきましては、子どもたちに企業や働く場を知っていただく取組として「てついく」というプロジェクトをしています。

最近では、学校でもプログラミング教育が始まっており、IT系の企業やプログラミングにつながるような業種の拡大もしております。室蘭工業大学のみならず、そういった企業や関係者に誘致・働きかけをし、皆さんの将来の働く場の拡充に取り組んでいます。

**【再質問】** 若い人が都会に出ていく原因の一つに、大学進学などをきっかけに都会に行き、都会の生活利便性を体験するとなかなか室蘭に帰ってこようと思わないという点があると思えます。

若い人が町に残ったり、将来帰ってくるには若者が求めるサービスの維持や豊かな自然やおいしい食べ物など都会にない魅力を知ってもらう必要があると思えますが、市長の考えを教えてください。

**【市長答弁】** 若い方からお話を伺う機会は沢山あり、今日もショッピングモールやチェーン店が欲しいなどのご質問をいただきましたが、市としての側面的な市有地の確保などの取組は十分であるとは思っていませんが、そういった都会にあるものを持ってこることも若い人の希望とは分かりながらも、室蘭らしい魅力を見つけて楽しむことも素晴らしいことと考えています。

何か新しいことをしたいというときに、周りの方みんなが応援してくれるような優しい町だと考えていますので、市としても、例えば何か新しいお店を持ちたいというときにサポートできるような体制を築くことも市として取り組んでいます。



○ 市長等から答弁を受けています。

## 質問順序 7

東明中学校

長井 悠 / 工藤 慎太郎

### 1. 地震・津波等における避難所について

〔質問〕室蘭市では令和4年3月までに全世帯にハザードマップが配布され、東明地区でも以前に比べ津波の浸水想定範囲が広がりました。

2018年の胆振東部地震のとき、旧高砂小学校近くに住む97歳の曾祖母の家は旭ヶ丘小学校が避難所とアナウンスされていましたが、インターネットでは徒歩21分となっています。しかし、これは健康な成人の場合ですので、避難所に行けなかったお年寄りや障がいを持った人もいたと思います。

市は常日頃から安心・安全なまちづくりを掲げていますが、災害時に避難所としての役割を果たしているのか見解を伺います。

また、私たち中学生・高校生が支援できることはあるでしょうか。

高砂町は一部が鷺別川に近く、津波災害警戒区域になっていますが、高台が近いので津波到達までの30分以内の避難は可能だと考えられます。

しかし、日の出町や寿町は海に近く避難するにはJRの線路を越える必要があり、線路を越えられるのは太平橋、寿橋、東室蘭駅のわたれーる、鷺別アンダーパスの4つに限られています。30分以内に住民約5,600人を安全に避難させる方法はどのように考えているのでしょうか。

この地域には津波避難ビルが少ないのが現状ですが、今後地方卸売市場が移転し、跡地に大型ショッピングモールが建設される予定ですが、津波避難ビルとして活用することは考えているのでしょうか。また、多くの方が線路を越えて避難できる橋の設置は考えているのでしょうか。

〔市長答弁〕避難所につきましては、市が開設する避難所は市内の人口分布にも配慮した10か所としていますが、新型コロナウイルス対策として受入人数を減らすことが求められており、避難所を増やす必要があるため、市内に15ある地区連合町会を通して、地域の方々による避難所の開設運営に協力いただくようお願いしており、今後も協議を進め、多くの避難所を設置できるよう努めます。

中高生の皆さんに何を協力いただけるかにつきましては、やはり災害時に円滑にお互い助け合うには日頃から顔の見える関係が大事だと思っています。

たとえば、地域における皆さん方の生徒会活動、地域のお祭りなどの行事を通じ、地域のお年寄りの皆さんとコミュニケーションを取り、いざ災害が発生したときに、あそこは1人暮らしのおばあちゃんがいるな、おじいちゃんがいるなと思い出すことが1人でも多くの避難誘導につながると思いますので、そういった声掛けができる関係づくりを考えていただくと地域としてはありがたい、心強いと考えます。

日の出町・寿町における避難対応につきましては、主な避難場所として、市営住宅やわたれーるなどのほか、津波災害警戒区域の外にある公園や民間施設も避難先としており、市場跡地のショッピングモールにつきましても、現在津波避難ビルとしての使用について事業者と協議を進めているところです。

線路を越えて避難できる橋の設置につきましては、施設整備は津波対策として有効ですが、一方で多額の費用や時間を要しますが、北海道においても地震・津波対策は喫緊の課題であるため、国や道への要望活動も重ねながら地域の方が安心できる取組に努めます。

～ 室蘭市長から ～

## 子ども議会を終えて

室蘭市長の青山 剛です。

私が市長に就任してからは初めての子ども議会を、令和4年8月10日（水）に開催することができました。

子ども議会の挨拶でも触れましたが、今回、子ども議会が無事開催できたのも、子ども議員として参加していただいた中学生14名の皆さんはもちろんのこと、市議会議員の皆さま、各中学校の教職員の皆さま、そして保護者の皆さまのご協力があったからに尽きるとしており、関係する皆さまに深く感謝申し上げます。

冒頭で「就任してからは初めて」と述べましたが、実は本市においては過去にも子ども議会が開催されたことがあり、昭和58年4月1日号の広報紙（当時は「市政だよりむろらん」）の表紙では、子ども議会の様子が紹介されています（市公式サイトから見る事が可能です。）。

約40年前のことですので資料も残っていないため、広報紙の記事でしか窺い知ることができませんが、「子供たちが市長や議長となって」との記載がありますので、答える側も子どもたちが担っており、また、高校生も参加していたようで、今回の子ども議会とは少々趣が違ったようです。

さて、今回の子ども議会に話を戻しますが、今回、皆さんからいただいた質問・提案はあらかじめ目を通しましたが、皆さん本当に室蘭のことが好きで、未来の室蘭を良くしたいと真剣に考えてくれているということを感じました。

もちろん言うまでもなく、私も室蘭が大好きで、今後の室蘭を素晴らしいマチにするため日々熱意を持って職務に励んでおりますが、市長として改めて、誠心誠意職務に当たらなければならないことを再認識し、誠心誠意答弁させていただいたところです。

中学生の視点から非常に面白い提案もいただき、内容をそのまま実現しますとはいえませんが、少しでも提案の趣旨を汲み取って今後の市政に生かしていきたいと思っています。

市役所にとって非常に有意義な時間であったと感じていますが、参加した生徒の皆さんにとっても、まちづくりに関して意見をいうことができる場として、室蘭の将来、そして自分たちの将来を考える良い機会になったものと思っています。

皆さんが大人になり、就職するときや就職後に、今回の経験が何かの役に立つことを期待しております。

改めて、参加された生徒の皆さん及び関係者の皆さまに感謝申し上げます。

### 子ども議会の動画などをホームページで公開しています！

室蘭市ホームページ ⇒ 右側の「150・100 記念事業」のバナーをクリック ⇒ スケジュールの8月に「子ども議会」があります。

※ 動画のほか、この「議会だより」や会議録も掲載しています。そちらもぜひご覧ください！



### 編集後記

今回、子ども議会を開催するに当たり、事務局的な役割として事前調整を含めて関わってきました。

仕事柄、中学生に接することは稀にあって、直接お話しすることはほとんどないため、今回は生徒の皆さんとお話しする機会があり、非常に新鮮な気持ちになりました。

もし、次回の開催があるのであれば、たとえ質問内容の所管課職員として答弁要旨を用意する側になったとしても、ぜひ関わりたいと思います。

（室蘭市総務部総務課長 斎藤 昌志）